



八鹿青溪



貫徹 慎独 創造

養父市立八鹿青溪中学校 校報
(令和5年5月10日) 第4号

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

但馬春季大会(部活動)の結果

◆野球

八鹿青溪 10-5 日高東 養父 4-0 八鹿青溪



◆ソフトボール

豊岡北 9-7 八鹿青溪 日高東 13-7 八鹿青溪 (敗者復活戦)

◆バスケットボール

<男子>

和田山 56-29 八鹿青溪

<女子> 第3位

八鹿青溪 56-50 豊岡北 出石 59-46 八鹿青溪 八鹿青溪 73-63 和田山



◆ソフトテニス

<男子> 団体戦 第3位 予選リーグA 1位通過

決勝トーナメント 八鹿青溪 2-0 香住第一 朝来 2-1 八鹿青溪

※個人戦 優勝

<女子> 団体戦 第3位 予選リーグA 2位通過

団体決勝トーナメント 八鹿青溪 2-1 豊岡北 豊岡南 2-0 八鹿青溪

※個人戦 準優勝

◆バレーボール 第3位

八鹿青溪 2-0 浜坂 八鹿青溪 2-1 日高西 出石 0-2 八鹿青溪

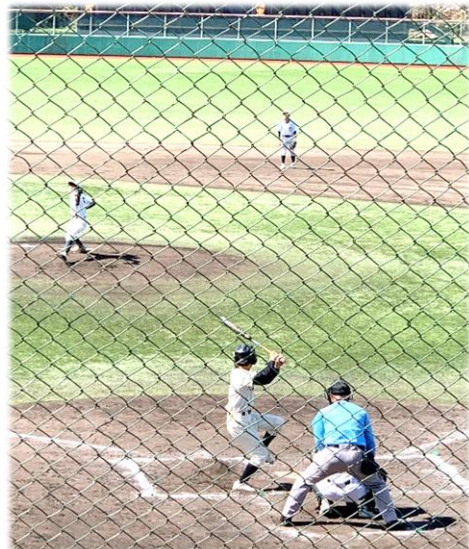
◆卓球 ※今大会は個人戦のみの開催

<男子>

最高位 ベスト16

<女子>

最高位 ベスト16



令和5年度学校運営協議会

4月25日(火)、八鹿青溪中学校の学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会とは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により設置に努めなくてはならないと規定されている機関で、学校の運営及び当該運営への必要な支援に関して協議をしていただきます。まず、今回の協議会の冒頭では、生徒たちの授業風景をご覧いただき、熱心に学習に励む様子や大きな声であいさつをする生徒たちの姿に触れていただきました。そして、協議会の中では、令和5年度の学校経営方針についてご承認をいただきました。委員からは、八鹿青溪中生徒は地域でもよくあいさつができているとお褒めの言葉を頂き嬉しく思いました。今後は秋に第2回目の協議会、冬に第3回目の協議会を開催し、八鹿青溪中学校の取組についてご意見を頂戴する予定にしています。



<令和5年度学校運営協議会名簿> たいへんお世話になります。

中島 健夫 様(会長) 高柳地区自治協議会代表 小橋千代子 様
維田 浩之 様 宿南地区自治協議会代表 西村 敏彦 様
中尾 公一 様 伊佐地区自治協議会代表 川瀬 章 様
加藤 弘 様 前PTA会長

八鹿地区自治協議会代表
小佐地区自治協議会代表
PTA会長

授業参観・PTA総会

5月7日(日)の授業参観・PTA総会におきましては多くの保護者の皆様にご来校いただき、本当にありがとうございました。授業参観では、いつも以上に張り切っている生徒たちの様子が垣間見えましたし、PTA総会では、令和4年度の活動報告等とともに令和5年度の活動方針等



についてご承認いただき、いよいよ令和5年度の八鹿青溪中学校が本格的にスタートしたことを感じさせていただきました。教職員一同、生徒のために精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

貫徹タイム(清掃)

八鹿青溪中学校では清掃時間のことを“貫徹タイム”と呼んでいます。つまり、邪念にとられず、最後まで清掃に集中して取り組むことをめざしているわけですが、本校の生徒はその理念を毎日校舎内のいたるところで実現してくれており、たいへん感心しています。221名も



生徒が居れば、何人かは清掃中にふざけたり、遊んだりする者がいるようなものですが、それがひとりも居ないので、実に素晴らしいことであり、いつまでもこの貫徹タイムの理念が受け継がれていくことを願います。

5月の「草庵先生の教え」

4月は、「筆硯整齐(ひっけんせいせい)」（筆箱など身のまわりのものを整えること）を合言葉に学校生活を送りました。

5月は、「学は自得せんことを要す」（学ぶということは、頭で理解するよりも体を通して理解し、心で納得することが大切である）を合言葉に学校生活をさらに充実させていきます。この言葉は、昨今よく叫ばれている「主体的で対話的で深い学び」にも通じていると思います。生徒には、知識をただ機械的に覚えていくスタイルの勉強方法ではなく、五感を使って、かつ、自分に問いかけながら学びを深めていく5月にしていってほしいと思います。いっぽう、我々教師も日々の授業づくりについてしっかりと考察していき、生徒への支援を充実させていく必要があります。そして、生徒の学びや自らの授業を常に評価し続ける「指導と評価の一体化」を推進していくことも大切であると考えます。

校訓 貫徹 慎独 創造

5月

学は自得せん

ことを要す

学ぶということは、頭で理解するよりも体を通して理解し、心で納得することが大切である。

